

# 八丁廃村～品谷山へ

Kid

1. 山行日 5月25日(土) 快晴 暑い一日
2. メンバー：他4人
3. コース 7:50 京都出町柳、9:40 菅原 9:55 出発、10:55 衣懸坂取り付き、11:20 衣懸坂上、11:55 847 地点、ソトバ峠を目指す。12:35 ソトバ峠～13:25 廃村八丁 昼食、13:50 出発、14:45 品谷峠 15:20 品谷山、15:50 ダンの分岐、16:20 ダンの峠、17:05 菅原バス停、17:25 出発、出町柳 19:15 着
4. 感想

今年は、まだ5月だというのに、真夏日が続き、今日も、朝から暑い。バスの到着が、いつもより、10分遅れ、帰りのバスの時間が決まっているので、最初から、焦り気味になる。その気持ちに反し、林道と、それに続く、沢沿いの道が今年の台風の影響で、倒木らで荒れていて、進みにくい。でも、ちょうど1時間位で、左からの支流の合流点に着く。ここが衣懸坂の取り付き点。でも道がはっきりせず、上を目指して、ともかく上る。10m位あがると、山道が現れ、ほっとする。

約30分、きつい登りを、ジグザグに上っていく。最後は又直登になる。峠に出ると、す～と、気持ちよい風が吹く。これがあるから、なかなか山はやめられない。下を見ると、ソトバ峠に通じる林道が通っている。少し休んで、次の847目指して登る。ここで休憩して、ここから、ソトバ峠までの尾根道に入る。ここからソトバ峠までのコースがむつかしく、5、6年前、K氏と初めて来たときは、なんとか、間違わず、ソトバ峠に着いたのであるが、それからは、4～5回になるが、どうしても、向かって右側のババ谷の方に下りてしまった、今回こそ、Mさんのナビを頼りに、目指す尾根を何とか探すことが出来、ソトバ峠に到着することが出来た。時計を見ると、12:35。ゆっくりできない。このババ谷も、昔に比べて荒れていて歩きにくい。

途中、その昔、木の切り出しに使ったと思われる、さびた原動機、そしてしばらく行くと、右側に、元この村に住んでいた住民のお墓が20基ほど、苔むして、訪れる人もいないようだ。何分、廃村のなったのが、昭和9年であるから、今から85年も前のことだ。そしてしばらく行くと八丁の部落跡にでる。30年位前までは、白い土蔵があったとのことであるが、今は、石積のみ。八丁川を渡ったところで、昼食。河原でテントが1張りあり、男の人がひとり。孤高の感じがしたので、話かけず。

今日この山にいるのは、この人と、バス停から一人、(ダンの峠に向かった)を入れて、3組だけ。昔は、もっとにぎわったものだが、最近、あまり人気がないようだ。今日は天気もよく、新緑がきれいで、のんびりしたいところだが、帰りのバスの時間まで、3時間半とのことで、早速出発。ここから、品谷山峠までの道は、しっかりしているが、やはり、大分荒れている。峠に出ると、風がスートと抜け、気持ちいい。

ここから、品谷山～ダンの峠への分岐まで、アップダウンの尾根歩きとなる。しかし、尾根筋は今年の台風の影響で、倒木が多く、それを越えて進むのに、難渋する。約1時間で、

ダンの峠分岐に着く。

ここからは、ダンの峠まで下りが続く。最後の急坂を下りると、16:20。ダンの峠に着く。バスの時間まであと1時間。休憩もそこそこに出発。約30分で、林道に下りる。そこからバス停まで、15分。バスの出発の20分前に着くことが出来た。バス停の前、上桂川が流れており、地元の子供らが楽しそうに遊んでいた。車道は、車もほとんど通らないので、のんびりしたものだ。

今回、私が、品谷峠の登りで、足が引きつり、皆様に助けて頂き、何とか、途中で回復し、時間に間に合うことが出来、メンバーに感謝です。ありがとうございました。